



SANUMA

VOL46

週報

佐沼ロータリークラブ



ロータリーの未来は
あなたの手に

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

例会場 サンシャインプラザ21 ☎22-8988
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 サンシャインプラザ21 ☎22-8988

(2009~2010年度)

会長 二階堂 學
幹事 菅原 文之
会報 氏家 良典 秀 義 弥子
小竹 秀敏 富士原 裕子

第2237回例会 2009. 12. 24 No.22

本日の出席率

- ・本日の出席率 59.18%
- ・前回確定出席率 100%

ニコニコボックス

- ・佐藤俊雄会員 (若柳RC) 本日メイクアップにきました。よろしくお祈り致します。
- ・二階堂學会長 2009年、会員の皆様から大変お世話になりました。ありがとうございます。2010年は、皆様に健康で幸せな1年でありますようお祈り申し上げます。本日のスピーチの富士原裕子会員に期待致します。
- ・菅野幸一郎会員 皆様には今年一年大変お世話になりました。来年もどうぞ宜しくお願い致します。本日のスピーカー富士原裕子会員に期待。
- ・富士原裕子会員 今日は今年最後の例会で、しかも私のスピーチです。初めてなのでとても不安です。でも、なんとか頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。
- ・鈴木彦太会員 富士原裕子会員のスピーチを楽しみに。本日は、今年の最終例会、来年も元気でお逢いしましょう。早退します。
- ・布施孝之会員 今年一年間お世話様でした。富士原裕子会員のスピーチを楽しみに。
- ・村上武彦会員 今年の最終スピーチ、富士原裕子会員頑張ってください。
- ・阿部泰彦会員 Merry X'mas. 富士原裕子会員のスピーチご苦労様です。若柳RCの佐藤俊雄次期ガバナー補佐を歓迎して。
- ・阿部賢悟会員 クリスマス家族会、担当の熊谷敏明委員長、オークションのセリ人阿部泰彦会員、大変お疲れ様でした。若柳RCの佐藤俊雄会員を歓迎します。

- ・飯塚仁哉会員 大納会、この一年間の交情を謝し、来る年はどんな運命がまっているやら。
- ・佐藤幸一会員 今年は大変お世話になりました。良い年を迎えられますようお祈り致します。富士原裕子会員のスピーチに期待します。ゲスト、若柳RCの佐藤俊雄会員を歓迎いたします。
- ・江川元徳会員 2009、さようなら、Good-bye、再見、Aut.Vidergen.
- ・高田次雄会員 今年最後の例会となります。どうぞよいお年を。又、新しい年に笑顔でお会い出来ますこと楽しみにしております。本日のスピーチ楽しみです。
- ・佐々木一寛会員 富士原裕子会員のスピーチに期待します。会員の皆様、今年はお世話になりました。来年もよろしくお願い致します。
- ・佐々木崇会員以下 富士原裕子会員のスピーチに期待して。
氏家良典会員 伊藤俊郎会員 山田直志会員
佐竹孝行会員 佐藤静市会員 遠藤光則会員
佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員
高橋利光会員 二階堂敏雄会員 武川毅会員
以上、ありがとうございます。

会長要件 二階堂學会長

今年も、この例会が最後になります。一年間いろいろなことがありました。この一年間を振り返ってみる時、わからないことだらけでした。これは一体何だろうという感じであります。

世の中も古いものから新しいものに変わろうとするところがあります。そういった中で、ロータリーで「職業倫理」ということがありまして、このことについて非常に難しい、分かりにくいということを考えておりました。

職業奉仕とはどんなことなのであろうか、「自分の

職業を通して社会に奉仕する」と定義されておりますが、この意味も分からない、非常に抽象的で分かりにくいものです。分かり易く言えば「最もよくサービスを提供するものが、最も良い利益を得られる」ということです。こういうことを実践し、行動していけば職業倫理がより高揚されてくる。

では、職業倫理とは何かというと、アイデンティティ(自我の同一性)即ち、自分が自分であるということをしちっと認識することが大事で、自分が認識するということは、ただ盲目的に上司から言われたことをそのまま何も考えずにするのではなく、自分が自分であることを自覚する、意識を変えていく、自分で考えて変えていく、即ち、自分と自分の考えを一致させるということです。意識を変えることによって、自分が会社に於いて行動する。その行動と自分が一致する。それで、はじめて会社に貢献していくということになる。社員が自ら部門経営をやるようになる。そのためには正しい考え方がほしいもので、この考えにもとづいて自分自身を一体化させることが必要であると思っております。

幹事報告 佐藤静市副幹事

- ・ガバナー事務所より、ロータリーレートのお知らせ。
2010年1月のレート、1ドル=90円

各委員会報告

- ・親睦活動委員会(熊谷敏明委員長)
 1. 新年利き酒会のお知らせ
22年1月7日(木) 第1週の例会時、利き酒会を行います。多数の正解者が出ますように。
 2. 新年移動例会のお知らせ
日時 22年1月23日(土) 午後6時~
場所 松島 ホテル「牡蠣」
会費 17,000円
還暦をお祝いする会員が8名おられます。是非皆様ご参加の上お祝いしていただきたいと思ます。申込み締切りは1月15日(金)
- ・国際奉仕委員会(千葉吉男委員長)
訪台の日程に関して会議を開催します。三役、国際奉仕、姉妹委員会の方はお集り下さい。
- ・米山記念奨学会(小泉洋委員長)
米山特別寄付金について
12月31日までに、米山記念奨学会にて入金が確認されたものについては、今年の税控除の対象になります。3万円で準功労者、10万円で第1回目の功労者となります。よろしくお願い致します。

今週のスピーチ

「十三仏起源と法要(供養)」 富士原裕子会員
十三仏さまは、いろいろな御仏さまの中でも、私たちにもっとも身近で、古くから信仰される13の尊い仏さまです。この世に生きる私達のお守り本尊と同時に、来世のつまり先祖供養の仏さまでもあり、年忌の際には必ず御本尊として拝まれています。

13の御仏たちは、それぞれに違った徳(特性、役割)を持ち、それぞれの働きを以て私たち一切衆生を救

済されます。そして、私たちの心が真に救われ、すべての世が浄土となることを願って精進されているのです。

- ・起源
 1. インド起源の七仏(中陰)
初七日、二七日、三七日、四七日、五七日、六七日、七七日(四十九日)
 2. 中国起源の三仏事
百ヶ日、一周忌、三回忌
 3. 日本を起源とする三仏事
七回忌、十三回忌、三十三回忌
 上記の3起源が日本に於いて合体し現在に至っています。

- ・なぜ供養するのか
この世とあの世の間に中陰という世界があり、死してのちこの世を抜けるのに49日間かかります。よく「魂は49日間おうちにいますよ」と皆さんも何かで聞かれることと思いますが、この間、7日ごとに仏様(御本尊)が順次入れ代わり、故人が一人前の仏となられるように、必要なことを教えて下さいます。また、これと平行して閻魔大王を座長とする極楽行か地獄行かの判定会議も7日ごとに開かれます。そして、残された家族の人達が、亡き人の7日、7日の判定が無事通るよう皆で経をととなえ、線香を上げる事が供養といわれています。49日目に極楽行か地獄行かの判定が出るので、七七日忌(四十九日)は初七日に次ぐ大切な供養の日となっています。

また、無事極楽行が決定しても、勉強はまだ終わらず仏の世界で一人前になるまで33年の長い時間がかかるそうです。この間の無事通過を願うため、家族や関連の人達がそれぞれのあたり日(初七日~三十三回忌)に経をととなえ線香をともし、各節目の御本尊に故人の願いがかなうようにするのが供養といわれています。

この事に関連しているのが十三仏となります。

- ・十三仏
不動明王(初七日) 大日如来の化身として諸尊の先頭に立ってお救い下さいませ。
- ・釈迦如来(二七日) お釈迦さまは仏教の開祖。菩提樹の下で、世の中の道理、自然の摂理を体得し、一切の迷いを離れて悟りを開かれました。
- ・文殊菩薩(三七日) 知恵の仏で、右手の剣は「諸戯を断つ」といわれ、愚かさを切る智慧の剣。
- ・普賢菩薩(四七日) ほとけの慈悲の活動を「普賢の行願」というように、救いの行の菩薩さま。
- ・地藏菩薩(五七日) 大地のぬくもりをあらわすお地藏さまは、六道衆生を救うほとけさまです。
- ・弥勒菩薩(六七日) 常に心を鎮め、衆生を救う思いをこらし、心を清めるお徳をお持ちです。
- ・薬師如来(七七日) 日々無事、健康に過ごせることが最も尊いことだということを教えて下さっている仏さまです。
- ・観音菩薩(百ヶ日)、勢至菩薩(一周忌) 阿弥陀如来(三回忌)、阿閼如来(七回忌)、大日如来(十三回忌)、虚空蔵菩薩(三十三回忌)の説明は、紙面の都合上割愛させていただきます。資料をご覧ください。